



市立小学校とのオンライン授業（10月）

市立小学校と当館が連携した、Google Meetをつかった理科「月の形と太陽」のオンライン授業を、10月に3校を対象に行いました。

令和3年10月6日(水)には、鴨方東小学校6年生(い組、ろ組の2コマ)で、「月と太陽の特徴をくらべよう」をめあてに学習を進めました。25人の児童がそれぞれタブレット端末を使って、博物館からライブ配信された太陽と博物館で撮影した月の写真を観察し、チャット機能やジャムボード(Jamboard)〈仮想のホワイトボード〉を活用しながら、分かったことやもっと知りたいことなどを挙げていきました。時間の許す限り、児童からの質問に答え、最後に、太陽と月の特徴をまとめ、これから学習する「月の形の変化」へつなげました。振り返りのアンケートでは、ほとんどの児童が、博物館とつないだオンライン授業は分かりやすかったと手を挙げてくれました(写真上)。



10月19日(火)は、寄島小学校6年生で、同様のオンライン授業を行いました(写真中)。

鴨方東と寄島小学校ともに、事前学習によって太陽や月について理解を深めていて、難しい質問もたくさんあり、太陽や月、そして宇宙に関心をもって授業を受けていることがうかがえました。



10月22日(金)は、金光竹小学校で、来年度の複式指導に向けて、6年生の教材である理科「月の形と太陽」の授業を、5年生に行いました。「太陽はどのような星なのだろう」をめあてに、遮光プレートをつかった観察や太陽のライブ配信、Jamboardを活用した質問等から、対話的に太陽について学習を進めました(写真下)。

